

就職して思うこと



(株)静環検査センター
藤枝ルクレMYFC

後藤 亜弥 (平28卒)

日本体育大学では、実技として多

くのスポーツを体験しました。個人種目、団体種目、どちらも人とのつながりで視野が広がり、人間力が高まりました。大学二年生の時、学生のオリムピックと言われるユニバーシアード世界大会を経験しました。選手村では、多くの種目の選手とふれあい、人との関わりを持ち続けることの大切さを実感し、生涯スポーツが人生を豊かにする事を感じました。

所属した日体大女子サッカー部では四年連続でインカレ出場すること



©2018 LECRE MYFC

が出来ました。支えるもの、チームを背負うものが、一丸となって闘う日体大スタイルを体感するとともに、良い人間関係が作れていた事を実感し人との関わり大切さを知ることが出来ました。

同期二十二名が卒業した後も、初めての社会人選手として「日体大FIELDS横浜」に所属、卒業生として三年間活動しました。日本体育大学で過ごした七年間で学力、知力、人間力を身に付け、自主性を持って行動することの大切さを教えていただきました。

ルクレMYFC移籍に伴い(株)静環検査センターで働きながらサッカー活動を始める事になりました。馴染み深い藤枝でプレー出来る事に感謝し仕事とサッカーの両立に励みたいと思います。今の会社では、社内の方、社外の方と関われる仕事を任せてくださっているため、多くの方とコミュニケーションをとることが出来ます。

将来、体育教師とサッカーの指導者の両立を目指しておりますので、藤枝MYFCサッカースクールの指導のお手伝いからも多くの学びがあります。所属チームの昇格も目指しサッカーの普及活動もしたいと考えております。自分の経験をいつか生徒の皆さんに伝えるために、多くのことにチャレンジしていきたいと思

中学校教員になって



浜松市立舞阪中学校

森 裕香子 (平28卒)

私は、高校時代に日体大出身の先生に出会い、人生が変わりました。その当時、実業団で競技を続けることを夢見ていましたが、この出会いで初めて教員を目指そうと考えました。

卒業後は、体育協会に勤め、社会体育を学んだ後、新規採用教員となりました。講師経験が無く、最初は分からないことへの不安ばかりが募りましたが、周りで支えてくださった先生方や仲間のおかげで、一年間たくさん経験をし、教員になって本当に良かったと改めて実感することができました。



その中でも、授業での出来事は、最も印象に残っています。四月当初は、先輩教員を見本に進めることで精一杯でした。しかし、自分なりに工夫を重ね、努力し続けた結果、二期の授業では、体育が苦手な生徒の大半に、「苦手だけど楽しい」と感じさせることができました。その際の生徒の笑顔や「分かりやすい」という声が何よりも嬉しく、自分にとっての励みになりました。

私は、努力し続ける、生徒を信じ続ける教員でありたいです。この姿勢があるからこそ、分かる・楽しい授業を展開でき、生徒が何倍もの喜びを感じられるのだと思います。教員として、まだ足りないところはありますが、今できることに精一杯取り組んでいきます。